

さいたま

YEG

5月号

新聞

知・情・意

研鑽と情熱が次世代の礎となる



令和3年度理事ご挨拶

令和3年度会長
加賀崎彰人くん



皆さん、さいたまYEG第18代会長の加賀崎彰人です。

先日は無事に総会、彩桜会も終わり新たなスタートを切る事が出来ました。この様な不安定な時に無事スタートを切る事ができたのも皆さま方の協力が有るからこそです。さて、今年度のスローガンは「知・情・意」であります。渋沢栄一翁が論語と算盤にて説いている人間力の根底となる指針であります。知・社会や相手を見抜く知恵、情・思いやりや人間関係の潤滑油となり、意・強い意志であります。人間力を身に着ける事は、自社の発展だけでなく、社会生活において必要不可欠であります。

令和3年度広報委員会
委員長 久下真央くん



令和3年度広報委員長を務めさせていただきます。久下真央と申します。

今年度も引き続きYEG新聞を2ヶ月に一度のペースで発行してまいりますのでどうぞ1年間よろしくお願いたします。

YEG活動を通じて是非とも人間力を高めて下さい。今年度はメンバー一人ひとりが人間力を高め取っていきます。そしてYEGは研鑽の場であり、毎月開催される委員会活動を通じてメンバーが目的を共有し、議論を重ねながら事業を達成する事で様々な学びを得る事が出来ます。事業や例会を通じてより一層の学びを得ると同時に、他のメンバーとの懇親を図る事も出来ます。幸いにしてさいたまYEGには400人近くのメンバーが在籍しています。様々な業種の方と話す絶好の機会にもなります。コロナ禍で新たな事業を始める切っ掛けになるかも知れませんし、互いに協力し新たな発見を得られるかも知れません。是非とも積極的な参加を通じて様々なメンバーと学び懇親を深めて下さい。

知・情・意

研鑽と情熱が次世代への礎となる

令和3年度専務理事
清水亮佑くん



今年度専務理事の職を仰せつかりました清水です。

加賀崎会長のもとさいたまYEGの事業が滞りなく進むよう、まだお預かりしている会費が正しく使われるよう、誠心誠意尽力して参ります。今年度の運営準備は昨年の夏より始まりました。コロナ禍が多少なりとも終息していることを期待しつつ、新しい時代在即した会の運営とはなにか、会長は毎日模索し続けていました。

「新しい価値観」とはパンテミックへの対応にとどまらず、新規事業の推進やダイバーシティを意識した会の運営にまで関ることができれば。次世代への礎を築くため、今ある課題を研鑽の好機と捉え、各々が成功するチャンスを加賀崎会長が皆様にお示しできると確信しております。

今年度はまだ始まったばかりです。みなさま公私ともに大変な状況にあると拝察いたしますが、積極的な事業へのご参加を切にお願い申し上げます。結びとなりますが、加賀崎会長に温かなお力添えをいただきますよう、ご協力のほど何卒よろしくお願申し上げます。

直前会長
本橋 岳晴くん



4月から令和3年度となりましたが、直前会長となりました本橋岳晴です。

4月総会では、温かな慎重審議をありがとございました。昨年度は年度はじめからコロナの影響によって私たちの活動に大きな変化がありました。皆様の会社運営にも多くの変化があったのではないのでしょうか。会の運営にも様々な対応が必要になり、悩みながらもではありますが一年間でしたが、会長として職務を全うでき誇りに思っています。私個人的には、会の運営を通して、また仲間たちと情報交換をする事で、会社としてもコロナ対応をすることができ、このような時こそ、さいたまYEGに入っていて良かったと思っております。一年間走り抜けることができたのも、会員皆様のご理解や、役員皆様のご協力があったからこそでした。本当にありがとうございました。4月から加賀崎会長のもと、令和3年度のさいたまYEGがスタートしたわけですが、最近の状況を見て、コロナの影響はまだまだしばらく続きそうです。私も当然、直前会長として会を支えて行きますが、加賀崎会長を中心として「知恵」と「情熱」を持って「意欲的に」進んで参りましょう。